

類別:機械器具(32)医療用吸引器  
一般医療機器 一般的名称:吸引器用キャニスタ 34858000

## OB 吸引器用使い捨てボトル

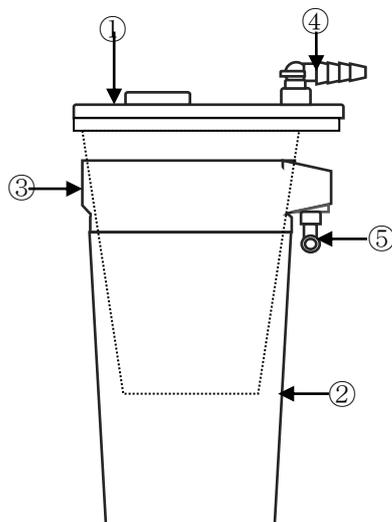
再使用禁止

### 【禁忌・禁止】

1. インナーボトルは単回使用である。再使用しないこと。
2. アウターボトル、ボトルアダプタをアルコール系の有機溶媒で清拭しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 《形状・構造》



- ① インナーボトル ② アウターボトル ③ ボトルアダプタ  
④ Lコネクタ(患者側) ⑤ Lコネクタ(装置側)

#### 《原材料》

ポリプロピレン樹脂、ポリエチレン

#### 《本体の寸法》

寸法: 130×90×220 (Lコネクタ部分除く)  
(単位:mm 寸法誤差:±10%)

インナーボトル容量: 1000 mL

吸引チューブ(患者側): 6×11mm(内径×外径)

吸引チューブ(装置側): 6×11mm(内径×外径)

※吸引チューブは本体に含まず

#### 【使用目的又は効果】

体液等の回収のため吸引器とともに使用するキャニスタで、単回使用のインナーボトルと再使用可能なアウターボトル(外筒)、ボトルアダプタで構成される。

#### 【使用方法等】

##### 1. 使用前の準備

- 1) アウターボトルにボトルアダプタを装着する。Lコネクタ(装置側)が固定していることを確認する。
- 2) 吸引器に設置し、吸引器の吸引接続口とLコネクタ(装置側)を吸引チューブで接続する。
- 3) 折りたたまれているインナーボトル貯留袋を十分に開いて(図参照)アウターボトルに装着する。インナーボトル蓋がボトルアダプタに確実に嵌着していることを確認する。



図:インナーボトルを開く

- 4) 吸引器を動作してインナーボトルが完全に膨らむまで空気を吸引する。
- 5) Lコネクタ(患者側)に吸引チューブを接続する。

##### 2. 使用方法

- 1) 吸引チューブにより体液等の吸引を行う。

##### 3. 使用後の処理

- 1) 吸引器側の吸引チューブを取り外す。
- 2) 使い捨てボトル全体を吸引器から垂直に取り出す。
- 3) Lコネクタ(患者側)をインナーボトル蓋から引き抜き、閉止プラグで閉鎖する。
- 4) インナーボトルをアウターボトルから取り出し、地域の規制に従って廃棄する。
- 5) Lコネクタ(装置側)から吸引チューブを取りはずす。
- 6) アウターボトル、ボトルアダプタの分解を行う。

##### 4. アウターボトル、ボトルアダプタの清掃、滅菌

- ・冷水で予洗した各構成部品を60℃以下の温水で洗浄し、乾燥する。
- ・滅菌する場合はオートクレーブ滅菌する(121℃、15分間、最大圧力2 bar)。オートクレーブ滅菌を30回したら新品と交換すること。

#### 【使用上の注意】

- (1) 本製品は医師、医療従事者、及びその指示を受け使用方法の説明を受けた者が使用すること。
- (2) 本製品は、各構成部品が確実に装着しているか確認してから使用すること。
- (3) インナーボトルの閉鎖を確認してから吸引器を停止すること。
- (4) 本製品を取り扱う場合には、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用すること。また、周囲環境の汚染に注意すること。
- (5) アウターボトル、ボトルアダプタを60℃以上の温水で洗浄しないこと。
- (6) アウターボトル、ボトルアダプタをアルコール系の有機溶媒で清拭しないこと。

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### 《保管》

直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

保管条件: 温度 -20~60℃、湿度 20~90%

##### 《有効期間等》

インナーボトルの使用期間: 製造日から5年間(自己認証による)。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社ノルメカエイシア

製造業者: OSCAR BOSCAROL S.R.L. (イタリア)